

## 長崎精道小学校・中学校 令和4年度 自己評価表

今年度の教育活動に関して、活動の実態や児童生徒・保護者アンケート結果、教職員協議によって自己評価を行いました。

### 【全体評価：数値評価】

全 体 評 価		3.7
○学習指導：特徴ある学習指導の実践	数値評価表（学習関係 児童生徒 保護者平均）	3.6
○教員研修：研究主題に沿った研修実践 ～自分の考えを持つ場の設定と、認め合い磨き合う交流活動の工夫～	研修実践実績 取組個人評価平均	3.6
○学校生活への満足度	数値評価表（学校生活関係 児童 生徒保護者平均）	3.8

※数値は最高を4とした4段階評価

### 【各種評価：特記事項】

- アンケートの結果から、教育方針やステージ別目標に対し、大方賛同を得ています。一方、児童生徒自身が、日々の生活で、学校や学級の目標を主体的に意識していくことが望まれます。
- 挨拶についての評価が、全体平均3.3との結果で、昨年同様に他より低い数値となっています。礼儀・思いやりの基本として課題意識を持ち、新たな意識付けを通して指導していく必要があると思います。
- 保護者アンケートを通して、日ごろの教育活動に対する感謝のコメントを多くいただきました。学校行事が制限されたため、参観などを通して子どもの様子がもっと知りたい、校外での活動を増やして欲しい等の期待が寄せられています。また、英語教育に関して、リモートレッスンが継続されたため、次年度に向けて国際交流の観点からはネイティブとの直接対面への期待が高まっています。
- 令和4年度は、教科教育研修を県内私立小学校に発信し、共同研究会を行うことができました。様々な意見が寄せられ、研究主題についての勉強は充実したものとなりました。学習指導について、一定の評価は得ています。教員協議会を通して、今後ますます「主体的に」学習する工夫や「多角的な」見方で学ぶ工夫を講じていく必要性を確認しました。

以上